

## 船員の仕事とそのやりがいを中学生に紹介

～ 荒川区立第三中学校「校内ハローワーク」への協力 ～

日本船主協会は、2008年7月に「人材確保タスクフォース」を設置し、船員教育機関等と連携しつつ優秀な日本人船員（海技者）確保のための広報活動を行っている。

今般、その一環として、荒川区立第三中学校（東京都）の「校内ハローワーク」に講師として日本郵船の岸田浩一船長を派遣した。

（写真は講演風景）



荒川第三中学校（荒川三中）の校内ハローワークは、進路・生き方学習の位置付けで多様な職業の方々（例年 30 職種程度）を講師に招き、生徒に「自分の生き方」について考えるきっかけを与えることを狙いとした行事で、平成 13 年度から例年開催されている。



航海機器について説明する岸田船長(正面右)

かれて参加した。なお、当協会に講師招請があったのは前回に続き 2 回目である。

岸田船長の講座には 40 名程が参加し、商船の種類や船員の仕事、船内生活に関する紹介、船員という職業のやりがいについての説明に熱心に耳を傾けていた。

終了後、岸田船長の講座に参加した生徒からは、「船についていろいろ知ることができた」、「海賊が本当にいることが分かった」、「海の上の仕事もいいなと思った」、「外国の人たちと協力して仕事ができるのは楽しそうだ」等の感想が寄せられ、日常的には馴染みの薄い船員という職業への関心が高まったことがうかがわれた。



各講座終了後には体育館で生徒代表から講師にお礼の挨拶があった